

京都民医連でめざそう!

地域の医療・介護・暮らしを支える
総合事務職・社会福祉士
採用案内



京都民主医療機関連合会
[京都民医連]

〒615-0004 京都市右京区
西院下花田町21-3
春日ビル4F

TEL075-314-5011

E-mail info@kyoto-min-iren.org

<https://www.kyoto-min-iren.org>

病院・介護施設の実習・見学などご希望の方は、
京都民主医療機関連合会事務局へご相談ください。



ホームページ



clinic office worker

京都民医連でめざそう!

地域の医療・介護・暮らしを支える
総合事務職・
社会福祉士
採用案内

病院での困りごとは
お声掛けください!



hospital office

医療や介護の相談は
おまかせください!



medical social worker

あの患者さんの体調、
安定してますね!



doctors assistant

このまちで、いのち、健康、くらしを支える。

はじめまして、京都民医連です！私たちは、京都で病院や診療所、薬局、介護施設、訪問看護ステーションなど、地域に密着した医療・介護事業所を運営する医療福祉団体です。地域の人とつながり、いのち、健康、くらしを支える民医連の魅力と取り組みを紹介します。あなたも、その一翼を担ってみませんか。

いのちは平等。差別のない 医療・介護をめざして

「お金がなくても安心してかかれる病院がほしい」という地域の人々の願いからスタートした民医連の原点は「いのちの平等」。格差と貧困が広がる今の日本で、差額ベッド代をとらず、無料・低額診療事業などを通して無差別・平等の医療と介護を実践しています。



住みつづけられるまちづくりを、 地域の人と一緒に

安心して住みつづけるためには、国や自治体による医療・福祉制度の充実や、医療・福祉の現場で働く人の待遇改善、何より平和であることが欠かせません。私たちは地域の方々と一緒に、平和・まちづくりの運動や地域の居場所づくりに取り組んでいます。



患者さんの立場に立つ、 親切でよい医療と介護

「健康」を左右するのは、運動や食生活など個人の努力だけではありません。私たちは、経済的事情や働き方、家族関係など、患者さんを多方面からとらえ、困難を解決するために一緒に考えることを大切にしています。災害救援や公害、職業病支援にも取り組んできました。



“民医連”って？

全国に広がる医療・福祉のネットワーク

全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、民医連の理念に賛同する医療・福祉事業所の連合会です。現在、病院や診療所、薬局、介護施設など47都道府県に1700か所以上が加盟し、約8万人の職員が働いています。

京都の地域医療・福祉に欠かせない存在

京都府内では、4か所の病院、24か所(歯科診5か所)の診療所、50か所の介護事業所、9か所の保険薬局などがあり、府民にとって欠かせない医療・介護のグループに成長し、約2800人の職員が働いています。また、「友の会」や「医療生協」という形で多くの地域住民の方々が運営や取り組みに参加しています。

民医連の事務って？

民医連の事務職員は、受付や会計だけでなく、様々な形で患者さんや他職種と関わり、その業務は多岐にわたります。事務職員は「医療とくらしのオールラウンダー」であり、民医連を中心に支える存在です。

京都民医連 MAP

- 診療所
- ▲ 薬局
- 介護事業所



[診療所事務]

地域の健康の見守り役

PROFILE

山田 真生さん

まいづる協立診療所

2021年入職



生まれたときから縁のある 京都民医連で働きたい

私は京都民医連中央病院で生まれ、幼い頃から何かにつけてお世話になってきました。当時は知る由もなかったのですが大人になって就職先を探すうち、民医連の無差別・平等の信念に共感し、この組織で働いてみたいと考えるようになりました。最初は非常勤として京都民医連中央病院に勤めていましたが、統一採用試験を受けて常勤となり、民医連に加盟するまいづる協立診療所に配属となりました。京都市内から舞鶴に赴任したのは12月下旬。初めて体験する雪のすごさにびっくりしたのを覚えています。



患者さんとの距離の近さが 魅力

大きな病院に比べて少人数の診療所では、1人で担当する事務作業が多岐に渡ります。たとえば病院であれば地域医療連携室が作成する紹介状を私が作成したり、先生が患者さんのもとへ向かう往診について行ったりしています。とくに往診は患者さんの健康状態や生活環境がよくわかり、窓口業務だけでは見えない患者さんの社会的背景まで窺い知ることができます。こうした患者さんとの距離の近さが診療所事務の魅力であり、地域で今どのような医療・介護が必要とされているのか、何のため誰のために仕事をしているのかを考える機会が多くあります。

友の会で地域の人と一緒に活動

一方で私は健康で安心して暮らせるまちづくりを進める「舞鶴健康友の会」の世話人をしています。お茶をしながら平和や健康を語り合う「ピースカフェ」のテーマを考えたり、予防接種のお知らせなどの情報を周知する企画を立てたりしています。今、老老介護や孤独死などが問題になる中、友の会の活動を通じて社会的に孤立する人をなくすお手伝いができればいいと考えています。そもそも民医連の根幹には、平和や人権を大切にする揺るぎない精神があります。私も以前、平和学習で原水爆禁止世界大会に参加しましたが、平和だからこそ健全な医療を提供できるのだと痛感することができました。

Q&A

職場の雰囲気はどうか？

普段から気にかけてくださる方が多く、困ったことがあれば何でも相談できます。仕事のことでなく、子育ての大先輩でもある職場の皆さんに、1歳になる子どものことで相談に乗ってもらうこともあるんですよ。

column

共同組織

「自分たちの地域に安心してかかれる病院・診療所がほしい」という地域の人の手によって誕生した民医連では、地域の方々が事業所の運営に参加するとともに、民医連と協力してまちづくりや健康づくりに取り組んでいます。そうした友の会会員や医療生協組合員などの組織を総称して「共同組織」と呼んでいます。健康や趣味に関する班会やサークル活動、助け合いのボランティア、高齢者や子育て世代の居場所づくり、子ども食堂や無料塾など多彩な活動に加え、平和や社会保障の充実を求める運動、地域を住みよくする運動にも取り組んでいます。民医連の大切なパートナーです。



[病院事務]

患者と繋がる最初の窓口



PROFILE

市村 胡桃さん
吉祥院病院
2023年入職

暮らしの困難に寄り添った 無料・低額診療事業に共感

どちらかといえば私は上手にお話しするのが苦手なほうです。接客業には向いていないと考えて事務職を選びましたが、医療事務の仕事においてコミュニケーション能力は必要不可欠なものでした。それを知ったのは医療事務の専門学校に通い始めた後のことでしたが、「せっかく勉強したのだから」と奮起して、入院病棟のある比較的大きな医療法人への就職をめざしていました。なかでも京都民医連の病院は無料・低額診療事業を実施していて、経済的に困難を抱えた患者さんにも寄り添っていること、さ



らには就職説明会で登壇された先輩のいきいきと話す姿に仕事の楽しさが伝わって、入職を決めました。

周囲のやさしさに支えられて

現在は外来の受付・会計、電話対応、診療計算などを中心に日々の業務に励んでいます。とくに私は電話対応に苦手意識がありました。しかし、「困ったことがあったら電話を保留にして誰かに聞いたらいいよ」と先輩がアドバイスをしてくれて、気持ちが楽になりました。私の部署では皆さんやさしく、私の母くらいの年代の方ともしゃべりやすい雰囲気です。職場には労働組合があるので、職員の意見が制度に反映されることもあり、安心して働ける要因の一つになっていると思います。

力をつけて 頼りにされる人に

受付は患者さんと接する最初の窓口です。「今日寒いね」とか「ありがとう」など患者さんから何気なく声をかけてもらえると、嬉しい気持ちになります。同時に、たとえば会計時の「高いなあ…」といった患者さんのひと言を聞き漏らさず、他職種と連携しながら無料・低額診療事業の相談につなげるなど、アンテナを張ることも求められる仕事です。私はまだ新人ですが、今後はさらに力をつけて1人でも仕事を任せられるように、また、後輩にも頼りにされるように成長していきたいと考えています。

Q&A

受けてよかった研修は？

京都民医連の制度教育の一つ「半年目研修」です。この研修では入職後半年目の職員を対象に、職場紹介やグループワークを通じて他の事業所の方と交流を深めます。同じ職場には事務の同期がいないので、仲間に出会えて嬉しかったです。

column

無料・低額診療事業

「健康保険証がない」「仕事を失くし、自己負担金が払えない」など、経済的な困難を抱えた人に、無料または低額で医療を受けられるようにする制度です。社会福祉法に基づく国の制度で、実施している病院・診療所は限られますが、民医連では「経済的理由によって医療が受けられないことがあってはならない」という考えに基づき、多くの事業所がこの制度を実施し、利用を呼びかけています。患者さんの相談を受けて審査し、所定の条件を満たした場合に医療費の減免を行います。まずは安心して治療を受けてもらった上で、生活保護の申請など、その後の生活再建につながるよう支援しています。



【医療ソーシャルワーカー】
(MSW)

患者さんの生存権を守る

PROFILE

神崎 郁さん

京都民医連あすかい病院

2013年入職



社会福祉の視点から 医療者と患者のあいだに立つ

大学では臨床心理学を専攻していました。しかし私は内面を深く分析するよりも、暮らしの側面から人を支援することに興味をもつようになりました。MSWIは、患者さんと医療者のあいだに横たわる“埋まらない溝”を埋めるのに必要不可欠な存在です。たとえば、治療を受けるうえで経済的な不安を抱えていたとしても、医療者を前に切り出せずにいる患者さんは多くおられます。そこでMSWがあいだに入り、患者さんが適切な医療や福祉サービスを受け、その人らしい生活を送れるよう相談支援を行います。



すべての人を 医療に繋げるために

しかし、民医連ではない以前の職場では、歯がゆい思いをすることがありました。個室しか空いていない状況で、差額ベッド料を払えずに入院できない患者さんがいたこと。保険証のない患者さんの治療を断らざるを得なかったこと…。個人の経済状況や社会的背景によって医療格差が生じる現実と直面し、ソーシャルワーカーとしての自分を見失いそうになりました。でも、京都民医連あすかい病院に転職してからは、無料低額診療事業があることや、とにかく相談に繋げるという風土が病院全体にあることで、経済状況や社会的背景に関わらず、「まずは受診してください」といえるようになりました。

患者の人権を軸に 多職種が協同

当院では、すべての職員が普段から患者さんの何気ない発言に気を配り、「生活面で何かしらの不安があるか」「サポートが必要なのか」といった“気づき”の視点をもつことを大切にしています。入院患者さんの支援では病棟ごとに定例のカンファレンスがあり、医師、看護師、リハビリ専門職、栄養士、薬剤師といった多職種が協同して患者さんの状況を把握し、何が課題になっているのかを共有します。そのなかで

MSWの役割は、患者さんを“病人”ではなく1人の“生活者”としてとらえ、その権利を守ることだと思います。

Q&A

子育てとの両立はできる？

私には1歳半の子どもがいて、急に職場を休んだりすることがあります。でも、同僚は私と同じ子育て世代や子育てを終えた先輩方が多く、「みんなが通る道だから」と理解してサポートしてくれます。とても心強い環境です。

column

差額ベッド代

個室に入院したら差額ベッド代(個室料)を払うのは当たり前、と思いませんか？厚生労働省の調査※では、日本のすべての入院ベッドのうち、差額がかかるベッドの割合は19.9%、平均金額は1人部屋の場合で1日あたり8,221円かかるそうです。病院都合の場合は差額ベッド代を払わなくてよいのですが、病院との関係を気にして支払いに同意する患者さんも少なくありません。民医連の病院では「いのちは平等」という理念から、差額ベッド代はありません。個室の利用は医療上の必要性に応じて決めています。これは民医連の大きな特徴の一つです。

※令和3年9月「第488回中央社会保険医療協議会・主な選定療養に係る報告状況」



[医師事務作業補助者]

見えないところで患者を支える

PROFILE

太田 龍治さん
京都協立病院
2021年入職

民医連で新たな業務へ書類作成でドクターをアシスト

以前は医療事務として8年間、京丹後市内にある病院に勤務していました。その頃、京都民医連の診療所に勤める方と話す機会があり、職場の人間関係がよく、患者さんとの距離が近いこと、「健康友の会」の活動を通じて地域との繋がりが強いことなどを聞きました。地域に根差した医療に取り組む民医連に興味を抱き、これまで携わってきた京丹後市以外の地域医療がどんなものかを知りたくなって、綾部市の京都協立病院への転職を決めました。



書類の背景にあるものを見据えて

京都協立病院では、前職では経験したことなかった、医師事務作業補助の業務を担当しています。医師の事務作業を支援するため、在宅介護サービスや施設への入所を希望する患者さんやご家族、支援者に必要な書類(主治医意見書、介護サービス共通健康診断書、訪問看護指示書など)の下書きをしています。窓口業務と違って患者さんと直接接することはありませんが、本来の診療に医師が時間を割けること、患者さんが必要なタイミングで書類を揃えることを通じて、間接的に患者さんを支えています。

地域医療と患者を繋ぐ架け橋に

最初は修正も多く、カルテを見てもわからない単語ばかりが並んでいました。そこで、リハビリを見学したり、訪問診療に同行したりして知識の習得に努めました。実際に患者さんの状態を目にするとイメージが湧き、質の高い文書を作成できるようになります。医師や他の職員に頼りにされる

ことで、私のやりがいに繋がりました。当院は地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟を有し、急性期病院を退院後、在宅復帰や施設入所を希望する方が多く来院されます。そして地域の医療機関や在宅介護サービス事業所と連携して、そこで暮らす患者さんの生活を

支えています。患者さんが適切に制度やサービスを利用できるよう、書類を通して架け橋となるのが私の役割です。

Q&A

Q

趣味は何ですか？

釣りとお菓子作りです。地元が日本海に面した京丹後市だったので、昔からよく父に連れられて海釣りへ行っていました。また、お菓子作りは母の好きなシフォンケーキを焼くことが多いです。職場の同僚にプレゼントすることもありますよ。

column

社会保障・平和を守る

民医連は結成以来、困難を抱える人たちに寄り添い、その社会的な背景をつかみ、ともに改善する運動に取り組んできました。全国のネットワークを生かして、経済的な事由による手遅れ死亡事例調査、コロナ禍を起因とした困窮事例調査などに取り組んで社会に発信し、社会保障の充実を求めて運動しています。また、医療・介護・福祉の現場で働く私達は、いのちや健康を脅かす戦争、環境破壊を見過ごせません。戦争も核兵器も原発も、“いのち”の対極にあります。民医連は、核兵器をなくす運動や、憲法9条を守り、大軍拡に反対する運動、原発をなくす運動に取り組んでいます。



京都府内に 100近い職場

民医連事務
こんな仕事も

京都民医連の事務職員は、医療機関の窓口で患者様と関わり、医師や看護師を含むチーム医療に関わることで、人と人とのつながりを紡ぐ大切な役割を果たしています。病院では受付窓口業務、保険請求業務をはじめ診療情報管理、医師事務作業補助(ドクターアシスタント)などに従事しています。診療所・保険薬局では様々な分野の業務を担い総合的な役割を發揮します。また社会福祉士の資格を活かしソーシャルワーカーとして勤務する職員もいます。

[診療情報管理]



京都民医連あすかい病院
診療情報管理課

小林 あかねさん

過去のカルテ管理や開示、点検、入院の疾病統計、他院にお渡しする画像作成、診療情報を安全に管理するための啓発などを担当しています。機密情報を預かり、形にする部署として自覚と責任をもって業務を行っています。

[医局事務]



京都民医連あすかい病院
医局事務課

西田 関さん

多忙極める医師の業務をサポートします。主に書類作成や診察室での診療補助、医師・コメディカルとの連携を円滑にする業務等を担います。診療をより安全・快適に進める、近年医療現場で重要視される分野を担っています。

[総務・経理]



公益社団法人 京都保健会
財務部

東 竜子さん

医療・介護事業のお金を把握・管理し、将来の資金計画を考える仕事です。帳簿への記録、取引先等の支払管理、決算関係業務、税金の計算等が主な業務です。やりがいは、数字で経営を目に見える形にできることです。

[地域連携]



京都民医連中央病院
地域医療連携課

長嶺 美香さん

地域医療連携課の主な業務は、紹介患者の予約作業や転入院に関する相談と広報活動です。地域のこと、疾患のことなど様々な知識を得ながら、在宅医療や病病連携など他院所・多職種の人たちと出会うのも魅力の一つです。

[薬局事務]



一般社団法人 京都コムファ
コスモス薬局

山中 由美子さん

患者さんの対応、会計業務、レセプト業務のほか、薬剤師のサポートをすることもあり日々奮闘しています。地域の方から「薬局の人だね、いつもありがとう!」と言っていた時はうれしかったです。

他職種からのメッセージ

医療や介護の現場では、多様な職種が協力して業務を行っています。日々事務職員と一緒に働く、他職種からの期待の声を紹介します。



[医師] 京都民医連あすかい病院 院長 中川 裕美子さん



患者さんの抱える問題に踏み込んで

患者さんの抱えている問題には、治療だけでは解決しないことが多くあります。事務職員は社会保障制度や住まいのことも踏み込んで患者さんを支えています。医療の知識がないからといって、気後れする必要はありません。職種を超えてフラットに意見を出し合えるのは、民医連の特徴の一つです。

[看護師] あさくら診療所 看護師長 福本 悦子さん



医師・看護師の頼れるパートナー

診療所では、それぞれの職種の仕事はありつつも、常に連携しなければ回りません。改まったカンファレンスの場以外でも、日常的に情報共有しています。事務職員が受付で患者さんの様子がいつもと違うことに気がつくことも多く、患者さんにも感謝されています。医師・看護師にとって大事なパートナーです。

[薬剤師] 一般社団法人メディカプラン京都 理事長 中川 直人さん



あらゆる面から薬局の業務をサポート

薬局では処方箋の入力や保険請求業務のほか、薬の取り揃えや、在宅訪問に同行して薬のセットなどもしてもらっています。より患者さんに近い視点を持っているので、ちょっとした相談など事務の方が話しやすいこともあるようです。民医連には医療、介護、薬局と多くの職場があり、幅広いスキルを磨くことができます。

キャリアアップ
スキルアップ

成長できる 職場です。

京都民医連の制度研修・各職場での研修が充実しています。

制度研修

半年目、1年目～4年目、役責者の事務職員制度研修を実施しています。
また、各事業所や職場ごとにも研修を実施しています。



スキルアップ研修

多職種研修、統一会計基準推進士養成講座、
メディエーター養成研修会、在宅医療推進
学習会、事務職のためのマネジメント研修、
診療報酬請求事務能力向上勉強会、個人情報
管理・担当責任者養成研修会、ファシリ
テーション研修などがあります。

サポート体制

- 先輩職員による、**メンター制度**を実施しています。
- 年2回の職場管理者・役責者との目標面接で、
個々人のスキルや志望をもとに、今後のキャリア
選択を相談できる**キャリアコンサルティング制度**
を導入しています。
- 人事育成部門において、個別相談も実施しています。

全国の民医連の仲間と学び、 交流できる！

京都府内の別の職場で働く職員や、全国の民医連で
働く職員と、職種を超えて交流する機会があります。

平和塾

「医療者として命を奪う戦争には反対」と、民医連で
は平和について学ぶことを大切にしています。平和
塾では、フィールドワークやグループワークなどを通
じて学びます。

働きやすさ

長く働き続けることが できる職場です。

健康で長く働き続けられるよう、福利厚生制度が充実しています。

職員を支える福利厚生

▶ワークライフバランスを実現

年間休日は124日と全国平均(労働者一人あたり115.3日、令和4年就労条件総合調査)を大きく超えています。有給休暇とは別に、夏期休暇、生理休暇(月1回女性のみ、府内で唯一有給以外で保障)、リフレッシュ休暇(勤続20年で3日、30年で7日)があり、有給休暇を時間単位で取得できることが特徴です。

育児休業(女性職員だけでなく、男性職員も実績あり)や勤務時間の短縮を利用しながら、多くの職員が産休後も働き続けています。

▶安心の共済制度

共済制度があり、医療費、疾病休業見舞金、出産休業見舞金、各種祝い金などの給付がうけられます。その他、スポーツ・文化鑑賞、レクリエーションへの補助、保養所の利用、スポーツ施設の割引などがあります。



ジャンボリー

民医連は全国に事業
所があり、全国規模
での研修やイベントを行っています。ジャンボリーは
全国の青年職員と学習・交流する機会です。



Welfare